

言語研究センター報告

松村文芳

いつも言語研究センターの施設をご利用頂きありがとうございます。本年度最後の運営委員会が無事終わりましたので、本年度事業の中間報告をいたします。経常予算による事業については来年度総会において報告しますので、ここでは新規の施設関連の報告をいたします。

本年度もLL教室のCALL教室への転換を実施しました。設備はすでに多くの先生方にご利用頂いておりますが、ここで改めてご紹介いたします。

教室は318室を318A室、318B室とし、319室はそのままです。定員は318A、318B室が32名、319室が64名です。三室すべてが同一の設備を備えています。

まずそれぞれの教室は従来のカセットデッキに相当する、リスニング・ステーション（アンペール社製）を備えています。この装置はカセットテープを使用しないでカセットテープと同じ学習ができるものです。CALLシステムを利用されない先生方が利用されます。

第二はCALLシステムです。各教室に同一のシステム（ビクター製）があります。従来のCALLシステムの機能以外にストリームビデオ映像（MPEGファイル）が簡単に学生ブースに転送可能な最新のシステムです。すでにCALLシステムを利用されている方も、これから利用される方も使用法は簡単ですので、是非言語研究センターの職員・

スタッフの皆さんに声をおかけください。

第三はビデオ・オン・デマンド（VOD）システムです。VODはソフトの不足とCPUの高速化の遅れにより、従来人気がありませんでしたが、我がセンターでは各教室で快適にご利用いただけます。120分くらいまでのVHS、S-VHS、DVDのソフトをMPEFG1ファイルに変換して、サーバーに保存し、それを学生側からCom-Playerというソフトを介して学習します。なおストリームビデオのMPEG1では「早送り」、「早戻し」ができませんでしたが、当センターではMPEG1をMPEG4に変換していますので、「早送り」、「早戻し」も可能です。既に当センター制作の試用ソフトが百数十本インストールされていますので、お試ください。

これで昨年度設置した302CALL教室とあわせると合計4室がハードLL、CALL、VODの機能を備えた教室になりました。従来からある314CALL教室も多くの先生方にご利用いただいています。

CALL教室はご存じのように多くの精密機器により構成された複雑な施設です。先生、学生の皆様に快適に使ってもらうためには、常時言語研究センターの職員・スタッフによる丁寧なメンテナンスが必要です。従って授業終了後の施錠等でご迷惑をおかけしますが、事情ご高察の上、今後ともよろしくご協力のほどお願いいたします。